

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	2年B巡	単元	実習	教科名	2B_AT分解組立	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	二級総合	日産TS3級テキスト(AT編)	発行日	2026.4.1
総時限	24時限		クロームブック			教科 担当
総時間	38.4時間		授業ノート			
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの着脱、分解、組立、点検等について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①オートマチックトランスミッション（FR）の構造、機能を理解する。
- ②AT車のATの点検、整備が出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①オートマチックトランスミッション（FR）の構造、機能が理解出来るようになる。
- ②オートマチックトランスミッションのトルクコンバータ特性、プラネタリギヤユニットの機能が理解出来るようになる。
- ③オートマチックトランスミッションの自動変速制御、動力伝達順序が理解出来るようになる。
- ④AT車のATの点検、整備、不具合原因の判定が出来るようになる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 15点、筆記試験 85点にて総合評価する。
整備科、国際科 60点以上で合格、工学科70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 1. 実技試験
 - ①A/T（FR）の構成部品。
 2. 筆記試験
 - ①A/T（FR）の構成部品。
 - ②A/T（FR）の構造、機能。
 - ③A/T（FR）の動力伝達順序。

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

